

科目名	臨床見学セミナー（理学療法）	担当教員	隈元 庸夫※ 伊藤 俊一※ 信太 雅洋※ 小林 巧※ 山中 正紀※ 小塚 直樹※ 久保田 健太※ 世古 俊明※ 森野 陽※ 佐藤 公博※ 小川 峻一※ 伊藤 俊輔※ 野陳 佳織※ 高橋 春花 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	1年次	前期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR11A	①、②、③					

科目概要	本セミナーでは、職業人としての規律やルール、マナー、対象者とのコミュニケーションのとり方について、グループワークを通じて学習する。理学療法士を目指すものとして必要な豊かな人間性や人を思いやる心を理解し、臨床見学実習にふさわしい人間性を育む。
学習目標	① 臨床見学実習で求められる課題とルールを理解する。 ② 職業人・医療人としての常識的行動・態度を理解する。 ③ 理学療法士に必要な人間性を理解する。 ④ 実習で体験した内容を報告する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	ガイダンス	臨床見学実習の概要	臨床見学実習の概要を理解する。	担当教員 全員
2	実習の心構え 1	知り得た情報の管理方法、記録とレポート作成方法	知り得た情報の管理方法を理解する。 実習記録とレポートの作成方法を理解する。	担当教員 全員
3	実習の心構え 2	コミュニケーション	指導者やスタッフ、患者および利用者とのコミュニケーションの取り方を理解する。	担当教員 全員
4	実習の心構え 3	職業人としての常識的行動・態度	職業人としての常識的行動や態度を理解する。	担当教員 全員
5	実習の心構え 4	報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の方法を理解する。	担当教員 全員
6	実習の心構え 5	事前準備	事前準備の重要性について理解する。	担当教員 全員
7	実習の心構え 6	調査学習 1	調査方法を理解する。	担当教員 全員
8	実習の心構え 7	調査学習 2	調査内容をまとめて、報告ができる。	担当教員 全員
9	演習 1	実習施設の概要や役割の報告	実習施設の概要や役割および体験内容を報告する。	担当教員 全員
10	演習 2	〃	〃	担当教員 全員

11	演習 3	〃	〃	担当教員 全員
12	演習 4	〃	〃	担当教員 全員
13	演習 5	〃	〃	担当教員 全員
14	演習 6	〃	〃	担当教員 全員
15	演習 7	〃	〃	担当教員 全員
評価方法		報告書（70%）、学習への取り組み（30%）		
課題に対するフィードバック		実習報告会を通してフィードバックする。		
教科図書		指定しない。		
参考図書		なし		
学習の準備		臨床見学実習に向けて、これまで学習した内容をできる限り復習すること（45分）		
オフィスアワー		月曜日 13:00～14:30、その他各担当教員から連絡する。		
担当教員欄に※印を付した教員の 実務経験		担当教員の実務経験を基に、臨床見学実習に向け、職業人としての規律やルール、マナー、対象者とのコミュニケーションのとり方等について実践的な指導をする。		